

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：深澤淳志

事業名		一般国道438号 <small>かみはちまん</small> 上八万バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点		自：徳島県徳島市八万町大坪 至：徳島県名東郡佐那河内村一ノ瀬				延長	5.5 km
事業概要：一般国道438号は県央部を横断する幹線道路であり、徳島市内においては渋滞解消を目的とする放射環状道路に位置付けられている。上八万バイパスは、国が進める徳島南環状道路への連絡道路として、また、朝夕の交通渋滞の緩和と歩車道の分離が不十分なために多発している交通事故の解消を図ることを目的に整備する2車線道路である。							
S63年度事業化		—		H3年度用地着手		H4年度工事着手	
全体事業費		105億円		事業進捗率		61%	
計画交通量		4,900~13,000台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年	
	(残事業)	33/110億円 事業費：32/108億円 維持管理費：0.80/1.5億円		82/191億円 走行時間短縮便益：72/171億円 走行経費減少便益：7.9/17億円 交通事故減少便益：2.0/3.9億円		平成20年	
感度分析の結果：残事業について感度分析を実施							
交通量変動		B/C=2.7 (交通量 +10%)		B/C=2.2 (交通量 -10%)			
事業費変動		B/C=2.2 (事業費 +10%)		B/C=2.7 (事業費 -10%)			
事業期間変動		B/C=2.4 (事業期間+10%)		B/C=2.6 (事業期間 -10%)			
事業の効果等							
<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（渋滞損失削減時間370千人・時間/年） 安全な生活環境の確保（死傷事故率581件/億台キロの事故多発箇所の解消） 災害への備え（「徳島県地域防災計画」において第2次緊急輸送路として位置付け）他12項目に該当 							
関係する地方公共団体等の意見							
沿線市町村で構成する国道438号・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会から早期整備を求める要望を受けている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等							
<ul style="list-style-type: none"> 平成12年4月に徳島南環状道路の一般国道192号と一般県道鬼籠野国府間が暫定供用。 平成20年3月に徳島西環状線の一般国道192号と主要地方道徳島鶴島線間が暫定供用。 							
事業の進捗状況、残事業の内容等							
<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度末の供用区間は全延長5.5kmのうち、中山・花房地区の約1.6kmが供用済み。 平成20年6月には大木地区の約0.6kmが暫定供用。 残事業は園瀬橋～大木地区の現道拡幅部と一ノ瀬地区のバイパス部。 							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等							
<ul style="list-style-type: none"> 公団混雑や価格問題から用地取得に遅れが生じている。 用地取得や工事促進に取り組み平成20年代半ばの供用を目指す。 							
施設の構造や工法の変更等							
<ul style="list-style-type: none"> 構造物のプレキャスト化（L型擁壁）によりコスト縮減及び工期短縮を図っている。 他事業と連携した残土の有効利用によりコスト縮減を図っている。 							
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由		以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図							